

## 留萌産トドマツ販路の拡大

～地域材利用・販売促進に向けた民有林との連携～

留萌北部森林管理署

## 【背景・現状】

- 留萌産トドマツは成熟期であり生産量の増加が見込まれる。
- 大量消費する木材加工施設がない。
- 集約化が進まず、小規模分散的な供給体制。

## 【地域の課題】

- 木材流通状況の把握と販売促進
  - ・留萌港からのトドマツ材輸出・移出に関する情報収集と安定供給体制の確立
  - ・地域材のPRとブランド化及び森林認証取得に向けた検討
- 民国連携した木材の安定供給に向けた仕組みづくり
  - ・伐採や搬出等ロットをまとめた共同出荷の検討

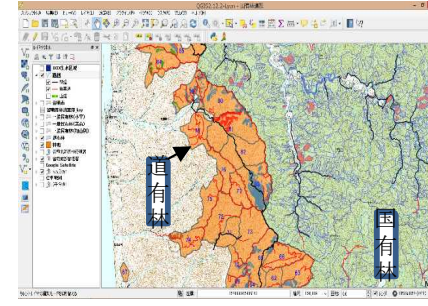


留萌港から輸出されるトドマツ材

## 【平成28年度の実施事項】

## ＜道有林と連携した施業の集約化・効率化＞

道有林と国有林をロットでまとめて立木販売を行う取組として、振興局と民国一体化図面を作成した。



## ＜初山別森林共同施業団地の活用＞

低コスト作業システム構築のために不可欠な林業専用道新設が、計画どおり進まなかったことから、運営方針を新たに定め、5カ年の実施計画も見直した。



## 【成果】

伐採箇所や路網の配置状況などから土場の共同利用や路網の連携等、協調出荷に向けた販売の可能性について協議を実施したが、尾根を境界としている部分は連携しにくいことがわかった。

留萌振興局と連携し、引き続き森林共同施業団地の枠組みの中で、路網の共同利用に向けた方策の検討や森林・林業とのふれあい活動の推進などを運営方針とした。

## 【今後の課題】

- 需要動向の把握、受け入れ情報を共有しながら販路拡大を図っていく。
- 今後も移出情報を把握し、可能な限り4m採材の実施を検討。



## 【目標】

林政連絡会議・地域林業活性化協議会で木材需要動向や受け入れ情報を共有し、販売促進対策の検討により留萌産トドマツ販路の拡大を目指す。